

わかるのか？

本物を造る人

本物を探す人

白川恒文 VS 清水善三

—他では希望通りの木がそろわないってこともありますよね。

清水：他社では、まず難しいですね。仮に物がそろってもここまでできる職人がいないという問題もありますよね。

—そうですね。手作りにこだわっていると言っても部分的にプレカットを取り入れている会社が多い中、完全に手作りする理由は何ですか？

白川：やっぱり基本的にはプレカットって、家の強度の問題を考えたって、簡単に組み立てられるだけに、昔ながらの日本家屋と同じにはならない。後はやっぱり伝統を守るっていう意地ですね。

僕は技術を持った職人を残したい育てたいですね。職人もね、プレカットのような簡単な仕事をしているとプライドが低くなるのですよ。できることが多い職人ほど、ちゃんとプライドを持っている。うちの仕事で鍛えられると技術が身につくから、「白川で仕事をしていた」と言えば、他でも通用します。

清水：それが技術の継承になるのですよね。

白川：プライドを持って仕事をしてもらうことが大事ですよ。仕事にプライドがあれば、多少つらいことがあっても続く。

清水：技術を持ちながら、提案してくれる人はなかなかいないですよ。

日本にはすばらしい神様がいて神代の時代から続いてきているのに、家だけが10年や20年住んだら終わりって思って建てるのだったらもったいないですね。せっかくだったら、子どもや孫の時代もずっと住んでもいいって思える

家にしたいですね。

—実際に住まれてみての暮らしこちはどうですか？

清水：無垢の木をふんだんに使っているんで、自然を感じますね。居るだけで心が豊かになりますよ。木の持っている力ですかね。いろんな人がこの家に訪れ新しい縁がうまれます。今回のテレビのお話も木の力かもしれませんね。

あいテレビ
6チャンネル

2/6 (金)
19:00~放送予定

清水さんの新居浜の暮らしが取材されました。
撮影場所は白川建設が建てた清水邸と、
清水さんがコーチを務める新居浜インドアテニス
スクールです。ぜひご覧ください。



※ 放送内容は都合により
変更になる場合があります。



ZENZO
SHIMIZU

清水善三

映画、テレビドラマ、舞台やバラエティ番組などで活躍する。その後、全国の神社を舞台に、日本神話を現代語と音楽の生演劇で語り継ぐ語り舞台『日本神話への誘い』の公演を進める日本神話語りプロジェクトのマネージャーとして活躍中。出雲大社「平成の大遷宮」奉祝奉納公演、天皇陛下御即位20年奉祝記念祝賀公演など全国で75回以上、ハワイでも公演した。愛媛県に移住し、公演や著述、スポーツ振興など活躍の場を広げている。また、新居浜インドアテニスクラブの特別講師も務める。祖父は1920年(大正9年)日本人で初めてウィンブルドンベスト4に進出し、テビスカップ日本代表としても活躍したテニス選手の清水善造

④ 無垢の木から一枚一枚削り出され特殊な加工を施したスイッチプレート

⑤ 8m に及ぶリビングの天井には匠の技が感じられる二重梁。意匠を凝らした空間は訪れる人を優しくする



⑧ 玄関は「立木」をイメージし、木を格子状にデザイン。木は無節の柱目のみを使用している

⑨ 地松を手すりとした白川建設オリジナルのデザイン。段板は一枚一枚手で加工された厚さ50mmの無垢材

4

5

9

⑥ セラミックタイル貼りの外観は洋テイスト。わざと家の中を連想できないデザインを選んだという遊びごころも清水さんらしい

6

7

⑦ 6mの地松を使用した登り梁。手刻みの仕事が可能にしたダイナミックなデザイン。豊富な経験と技術が生み出す伝統美

